

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：26026

学校名：真駒内公園小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目なし ○前回の記録より下回った記録全種目	・運動に肯定的な子どもは多いものの、今年度は全種目で昨年度の記録を下回るという結果になってしまった。前向きな気持ちを尊重しながら、運動能力を向上させる手立てを増やしていきたい。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅跳び ○前回の記録より下回った記録握力、長座体前屈、反復横跳び、50m走ソフトボール投げ	・昨年度よりも上回った種目はあるものの、下回った種目の方が多かった。男子同様、運動への前向きな気持ちを大切に、子どもが主体的に運動できるような手立てを続けていきたい。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き」と回答する子どもの割合 R6 男子：95.9% 女子：70.9% R7 男子：100% 女子：92.8%	・全体的に、運動へ前向きにとらえている子どもが増えてきている。本校が取り組んできた多様な運動機会の創出の工夫が、効果を成してきていると考えられる。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

具体的な取組	<p>○みんなが運動の楽しさやできる喜びを味わうことのできる授業構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で縄跳びに取り組むことで、楽しく体を動かす素地を育む。 ・どの学年も「課題探究的な学習」ができるよう教員の校内研修等を充実させる。 ・出前授業や外部講師を依頼し専門的な指導を受けることで、技能向上や意欲増進を図る。 <p>○可視化で協働の場面を生み出す</p> <p>一人一台端末を活用することで自分やチームの動きを可視化・共有することができる。仲間と協働し課題解決していく中で、協働のよさやできるようになる喜びを味わわせる。</p> <p>○安全と運動量を確保するための器具常設</p> <p>全学年同期間に「跳び箱運動（遊び）」を設定し、体育館に跳び箱を常設することで器具の準備・後片付け時の怪我を防ぎ、準備を省くことで生まれた時間を運動時間に充てず</p>	<p>○なわとび Week の取組【仲間・時間】</p> <p>冬季の休み時間に設定し、楽しみながら運動する機会を設ける。1年生と6年生の兄弟学年や、同じブロック同士など、異学年との交流も図る。</p> <p>○とびばこ Week の設定【時間・空間】</p> <p>全学年同期間に「跳び箱運動（遊び）」を設定し、体育館に跳び箱を常設することで、休み時間も跳び箱の練習ができる場を設定する。</p> <p>○体を動かす場の充実【空間】</p> <p>2か所の多目的教室を休み時間に開放し、ジャンピングボード（縄跳び運動の補助器具）やけんけんばを常設することで、体育館以外に雨天時で動かすことのできる環境を整える。</p> <p>○体を動かす道具の充実【仲間・空間】</p> <p>一輪車、竹馬、サッカーボール、ドッジボール、ドッジビー等、休み時間に友達と体を動かして遊ぶ道具を充実させることで、外遊びを奨励していく。</p> <p>○まこえん大なわ大会の取組【仲間・時間・空間】</p> <p>異学年交流活動の一環として設定し、大会に向けての交流グループでの練習を通して、仲間と運動する機会の創出を図る。また、繰り返し同じ運動を練習していくことで、子ども自信の向上を狙い、運動への意欲増進につなげていきたい。</p>	<p>○性に関する指導・食に関する指導の充実</p> <p>養護教諭・栄養教諭と連携し、発達段階や子どもの実態に応じた専門的かつ充実した指導を行う。また、学んだことを更に探究したり生活に生かしたりできるように継続的な取組を促す。</p> <p>【3年 総合的な学習の時間「健康生活大作戦」】 保健や食に関する指導で「健康に過ごすための要素」について学んだ後、テーマ（食事、運動、睡眠など）を絞り探究活動をしていく。</p> <p>○給食ビンゴの取組</p> <p>児童一人一人の実態に合わせて無理なく楽しく食べる工夫を行い、苦手なものを少しでも食べようという気持ちを育む。</p> <p>○オフ☆チャレの取組</p> <p>第3日曜日はゲームをしたり動画（学習に関わるものは良い）を見たりはせず、体を動かしたり家族団らんをしたりするなどして、充実した休日を過ごす意識をもたせる。</p>
---------------	---	---	--

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページやお便り等を活用した健やかな体育成に関する取組の積極的な発信 ・保護者ボランティア（水泳学習、スキー学習等）の依頼 ・ラグビー、フットサル等出前授業の活用
---------------------	--

